

相談・お問合せ

●かながわ子ども・若者総合相談センター

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ch3/cnt/soudan/02_soudan.html

ひきこもりや不登校、学校のこと、生活のこと、人間関係など様々な悩みを有する子どもや若者、そのご家族、関係者からの相談に応じています。



☎045-242-8201
火～日曜（月・年末年始を除く）
9:00～12:00 13:00～16:00

LINE 相談も実施中！
曜日や時間等詳細は上記の
リンク先からご確認ください



●非行・犯罪被害・いじめ等の相談

県警察ユーステレホンコーナー
☎0120-45-7867（ヨイコ ナヤムナ）
平日 8:30～17:15
（土・日・祝日・12月29日から1月3日を除く）
☎045-641-0045（マルマルヨイコ）

●消費生活相談

消費者ホットライン
（局番なし）188番（イヤヤ）
※身近な消費生活相談窓口につながります。

インターネット上の有害・違法情報の通報

インターネット・ホットラインセンター

<https://www.internethotline.jp/>
警察への情報提供、プロバイダ及びウェブサイト等の管理者への送信防止措置等の対応依頼を行っています。



お役立ちホームページ

<神奈川県消費生活課>

インターネットの危ない世界を体験しよう！
インターネットの危ない世界 PART2—スマートフォン・タブレット編—
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/r7b/cnt/f535323/p786083.html>

インターネットトラブルを疑似体験できます。
「インターネットの危ない世界」を疑似体験し、トラブルを未然に防ぎましょう！



<神奈川県教育委員会>

子どものケータイ 安全・安心な利用のために
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/vn7/cnt/f300473/index.html>

子どもたちの携帯電話やスマートフォンの安全・安心な利用に向け、ウェブサイト「かながわモード」の運営、企業協力による「携帯電話教室」の実施など、様々な取組が掲載されています。



<神奈川県警察本部>

インターネットを正しく使うためには
<https://www.police.pref.kanagawa.jp/kurashi/hikoboshi/mes5002.html>

インターネットを正しく使うためのポイントや、ペアレンタルコントロールの重要性について掲載されています。

神奈川県警察少年育成課 X (旧 Twitter) @KPP_ikusei
少年の非行・被害防止に関する情報等を発信しています。



<神奈川県精神保健福祉センター>

インターネット依存・ゲーム障害（依存症）
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/nx3/cnt/izon/gameizon.html>

睡眠時間を削って深夜までインターネットをしていませんか。便利なインターネットも心身ともに日常生活に支障をきたす状態ともなれば、それは過度の「インターネット依存」かもしれません。自分が依存かかと感じたらチェックしてみましょう。



<神奈川県青少年課>

青少年のインターネットの利用
https://www.pref.kanagawa.jp/docs/t7e/0214s3/seisyonen_internet/

◆SNSトラブル防止動画公開中



<神奈川県がん・疾病対策課>

ゲーム依存症を知っていますか？
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/nf5/izonsho/top.html>

ゲーム依存を題材にしたアニメーションによる動画を制作・公開しています。

ゲーム依存症を知っていますか？
Shrink ～精神科医ヨワイ～



◆出前講座のご案内 県青少年課では、青少年のインターネットやフィルタリングの利用、家庭でのルール作りなど、社会環境の現状や青少年施策について、「出前講座」を実施しています。詳しくは下記ページをご確認ください。

青少年の健全育成に係わる出前講座 神奈川県 青少年の健全育成 出前講座 [検索](#)

「買う前」「使い始め」が重要
お子さんの**スマホ利用**を見守りましょう



とても危険！

「親が見ていなくても
きちんと使えるだろう」では、



3つの見守りポイント

- スマホの特性や危険性を理解しましょう
- フィルタリングを設定しましょう
- 親子で一緒にルールを作りましょう

令和5年にSNSを利用して犯罪被害にあった子どもは全国で1,665人。そのうち約9割がフィルタリングを設定していません（判明分）でした（警察庁）
※SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）とは、LINE、X（旧Twitter）などインターネット上の交流サービスのことです。



見守りポイント1

～お子さんにスマホを持たせる前に～ スマホの特性や危険性を理解しましょう

スマホは、いつでもどこでもインターネットに接続でき、SNS・ゲーム・動画・音楽などの豊富なコンテンツを利用することができる便利なツールです。しかし、使い方を誤るとトラブルや事件に巻き込まれ、ときには取り返しのつかない事態となることがあります。

保護者はスマホの特性や危険性を十分に理解したうえで、
お子さんと話し合ってから持たせるべきかを決めましょう。

誰が見ているかわかりません!

不特定多数の人に見られる可能性があり、悪意を持った人に利用されてしまう危険性があります。
(公開性・公共性)



未成年者誘拐被害
ストーカー被害

発信したものは消せません!

インターネットや SNS に投稿した情報は拡散されやすく、自分ではコントロールができなくなる危険性があります。
(拡散性・記録性)



自撮り撮り被害
誹謗中傷

信用できる情報?

インターネット上には、信用できる情報と、そうでない情報が混在しており、結果的に詐欺やニセ情報に翻弄される危険性があります。(信ぴょう性)



詐欺・風評被害
虚偽情報

規則正しい生活を守る?

情報や娯楽を際限なく追い求めることで、日常生活や勉強がおろそかになったり、オンラインゲームの課金をやめられなくなる危険性があります。
(依存性)

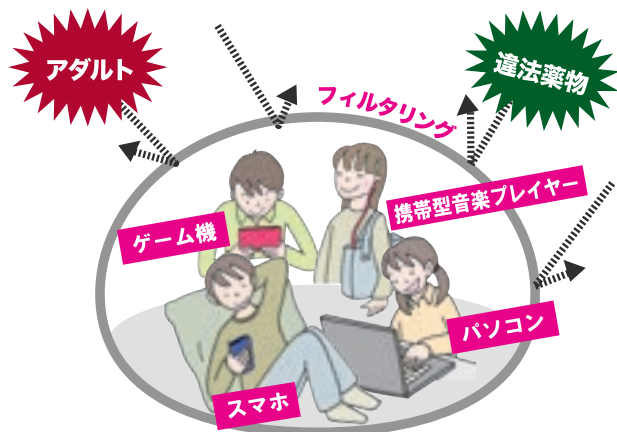


インターネット依存
ゲーム依存・高額請求

見守りポイント2

～違法・有害な情報からお子さんを守るために～ フィルタリング(「あんしんフィルター」など)を設定しましょう

フィルタリングは、お子さんに違法・有害と思われるサイト(出会い系・アダルト・違法薬物サイトなど)への接続を制限します。



※携帯型音楽プレイヤーやゲーム機など、スマホ以外にもインターネットに接続できる機器はたくさんあります。

★フィルタリングは購入時に店舗で設定

- ・使用者が18歳未満であることを必ず伝えましょう。
スマホの使用者が18歳未満の場合には、お店側は販売時にフィルタリングを設定することが義務付けられています。
- ・フィルタリングの説明を受けましょう。
アプリやサイト別にフィルタリングをカスタマイズできる機能があります。保護者の方は、カスタマイズ機能の使い方を覚えましょう!!
- ・フィルタリングが正しく機能しているか確認しましょう。
たとえ、フィルタリングを設定してもクリック1コで解除できてしまう場合もあります。

★無線LANやアプリにも効果あり

近年のスマホのフィルタリングは、回線の種類(携帯電話回線、無線LAN等)に関係なく、フィルターをかけることができます(携帯電話事業者各社が提供する「あんしんフィルター」など)。機器本体の機能制限と併用すると、より効果的です。



ここがポイント!

お子さんから「見たいサイト・アプリが見られない」と言われても安易にフィルタリングを設定しなかったり、解除することは、大変危険!

見守りポイント3

～適切なスマホ利用のために～ 親子で一緒にルールを作りましょう

フィルタリングで全てのトラブルを回避することはできません。親子でよく話し合っただけで作ったルールを守ることで、スマホと上手につき合える力を身につけましょう。保護者自身もお子さんのお手本となるような使い方をすることが大切です。



おすすめルールを基に書いてみましょう!



我が家のルール

★使用時間

★使用場所

★気をつけること

★ルールを守れなかったとき

★困ったとき

子どものサイン

保護者のサイン

ここがポイント!

- 1 お子さんの成長や能力にあったルールにしましょう。
※SNSアプリの使い始め、長期休暇前、部活動・塾通いを始める時はルールを見直すタイミングです。
- 2 どうしてそのルールが必要なのかを理解させ、お互いに納得したものにしましょう。
- 3 お子さんが使おうとしているアプリ等を試しに使ってみましょう。
- 4 定期的にルールを見直しましょう。

おすすめルール

使用時間や場所

生活習慣が乱れないように、メリハリをつけて使用させることが大切です。

一日の使用時間や時間帯

例) 平日0時～△時、土日祝日0時～△時、夜0時以降は使用しない。

使用する場所

例) リビングでの使用のみ。YouTubeはテレビで視聴。定期試験2週間前から自室に持ち込まない。充電器を寝室に持ち込まない。

インターネットを利用するとき

不正なサイトやアプリからのウイルスの感染や、個人情報が流出する危険があるので十分注意しましょう。

サイトへのアクセスは慎重に

例) 登録サイトは、個人情報などがどこまで登録されるかなど、保護者が事前に安全を確認する。

安易なダウンロードはしない

例) 親が先にダウンロードをしてから使う。アプリは必ず親子で利用規約を確認してダウンロードする。

SNSを利用するとき

情報発信には責任を持つようにし、軽い気持ちで発信したことで一生後悔することがないように十分注意しましょう。インターネットの先にいる人の気持ちを考え、思いやりの心を持つことが大切です。

個人情報は書き込まない

【書き込まない情報を具体的に決めましょう】

例) 名前、顔写真、学校名などを書き込まない。

人を傷つける書き込みはしない

例) 自分がされたら嫌な事は書き込まない。悪口拡散、同級生の噂話をしない。

ルールを守れなかったとき・困ったとき

作ったルールを守らせるためにも、守れなかった場合の約束事は必要です。何か困ったことがあったとき、緊急の相談先・連絡先を決めておきましょう。

一時、使用禁止

例) 3日間使用禁止、充電禁止。

困ったときはすぐに相談

例) 知らない人からのメール、身に覚えのない請求が来た場合は、すぐに〇〇に相談する。

★相談やお問合せは裏面へ

★お子さんが、SNS・インターネットに縛られない時間を過ごせる環境作りをお願いします。